

令和8年度
事業計画書

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

事業方針

令和7年度の車券売上高は、前年同期比 2,056 億円増と、18.8%の伸び（令和8年1月末時点）を示し、12年連続で前年度を上回り、引き続き堅調を維持している。

また、令和6年度に引き続き公営5競技の中でも競輪が最も高い伸び率を示している。これは常にお客様目線に立ち、様々なイベントや開催を経て、新たな顧客創出に取り組んできた施行者と競輪業界の成果である。

令和8年度は、第3次を迎える新たな中期基本方針の取り組みを着実に進めるため、以下の事項について重点的に取り組んでいく。

◆ 競輪第3次中期基本方針の取り組み

令和8年度から5年間を通じ、2兆円の売上目標を達成するため、「社会還元の浸透」や、「顧客の増加・エンゲージメント強化」、「魅力的なレースの提供」、「持続可能な競輪の運営」を4つの柱として取り組む。

◆ 協賛競輪等の開催による支援継続

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会協賛競輪による大会支援や、ワールドサイクリスト支援競輪の選手育成事業等のほか、令和8年度が開催の最終年度となる施設整備等協賛競輪を引き続き実施し、収益の一部を各種支援のため拠出する。

◆ 特別競輪の活性化

女子オールスター競輪（GⅠ）を毎日新聞社杯として開催することで、認知拡大及び活性化を図る。

各種特別競輪等については、出場選手選抜方法、概定番組等を必要に応じで見直しするとともに、特別競輪等開催施行者から開催終了後に提出される「取組計画実施報告書」を令和9年度特別競輪等開催施行者等に共有し、特別競輪等の活性化を図る。

◆ プロモーション基本戦略に基づく広報宣伝

「プロモーション基本戦略」に掲げる競輪の「スポーツ性」を軸に、CM放送やインターネット上で競輪に対するイメージ向上を図り、顧客の獲得・エンゲージメント強化に繋がる広報宣伝を実施する。

◆ 競輪公式投票ＣＴＣの会員拡大及び売上増加

業界の公式投票サービスとしての信頼性、優位性等をアピールし、既存会員の購入額増加、休眠会員の再アクティブ化及び新規会員の獲得を目的としたキャンペーンを株式会社ジャパン・サイクル・インフィニティ（ＪＣＩ）と共に実施する。

◆ 2028 V I S 構築プロジェクトの推進

令和 10 年度からの稼働を目指し、プロジェクトの一員として関係各所との協議・調整を行う。また、共通基盤システムをはじめとする各個別機能システム群の開発等について、施行者作業部会と連携し、システム構築を推進する。